

令和8年産 美里地区の稲作情報

宮城県美里農業改良普及センター 第3号 令和8年6月23日発行

TEL:0229-32-3115

<https://www.pref.miyagi.jp/site/misato-index/>



1. 管内生育経過(表1)

調査地点	品種	区分	田植 (播種)日	6月10日調査結果				6月20日調査結果				
				草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉数 (枚)	葉色 (SPAD値)	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉数 (枚)	葉色 (SPAD値)	
移植	田尻 (桜田 高野)	ひとめ ぼれ	本年値	5月10日	26.3	325	6.4	44.3	32.1	505	7.7	43.0
			前年値	5月3日	30.0	281	6.4	41.6	43.7	582	8.2	46.3
			平年値	5月4日	27.9	250	6.5	41.0	42.6	477	8.3	44.9
			前年比・差	+7	88%	116%	0.0	106%	73%	87%	▲0.5	93%
			平年比・差	+6	94%	130%	▲0.1	108%	75%	106%	▲0.6	96%
	鹿島台 (広長)	つや姫	本年値	5月14日	24.8	97	5.2	33.4	28.0	201	6.7	36.7
			前年値	5月15日	25.9	106	5.5	30.8	34.9	278	7.8	44.2
			前年比・差	-1	96%	91%	▲0.3	108%	80%	72%	▲1.1	83%
	南郷 (和多 田沼)	金の いびき	本年値	5月17日	27.7	107	5.8	35.1	6月25日調査予定			
			前年値	5月19日	25.6	67	4.8	32.7				
			平年値	5月10日	27.2	143	6.3	36.8				
			前年比・差	-2	108%	160%	1.0	107%				
平年比・差			+7	102%	75%	▲0.5	95%					
乾田 直播	小牛田 (北浦)	萌え みのり	本年値	3月22日	16.8	73	5.2	-	31.3	103	6.7	35.6
			前年値	4月7日	26.6	133	3.7	-	37.3	373	5.9	41.5
			前年比・差	-16	63%	55%	1.5	-	84%	27%	0.8	86%
	南郷 (二郷)	ひとめ ぼれ	本年値	3月25日	19.2	117	5.1	-	24.2	225	7.0	34.4

※平年値は過去5年間の平均値。つや姫、萌えみのりはR6年から、南郷ひとめぼれはR8年からの調査。

- ・移植ひとめぼれ、移植つや姫とも、草丈、茎数、葉数、葉色すべての項目で前年を下回っています。
- ・5月中旬移植のひとめぼれは、m²当たりの茎数は505本に増加し、有効茎数の目安に到達しました。
- ・直播では茎数の増加が緩やかで、前年を下回っています。

2. 今後の栽培管理

(1) 中干しについて

- ・有効茎数を確保したら、速やかに中干しに入りましょう。籾数が過剰になると、登熟期間が高温の場合の品質低下のリスクが高まります(図1)。

表2 品種別の有効茎数の目安

品種	m ² 当たり茎数 (本/m ²)	1株当たり茎数(本/株)		
		50株植え	60株植え	70株植え
ひとめぼれ	410~460	27~30	23~25	19~22
ササニシキ	480~510	32~34	26~28	23~24
つや姫	400~440	26~29	22~25	18~21
だて正夢	350~400	×	19~22	17~19
金のいびき	440~490	29~32	24~27	21~23

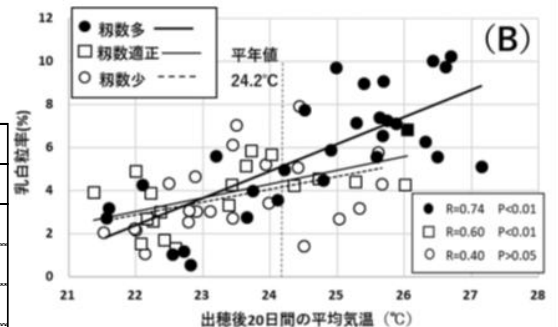


図1 籾数、出穂後20日間の平均気温、乳白粒率の関係
(普及に移す技術第95号(2020)より)

こまめな休憩、水分補給！！農作業中の熱中症に注意しましょう！！

☆金のいぶきの中干し

金のいぶきは、根を傷めないようにするため、強い中干しは控えましょう。

☆直播栽培の中干し

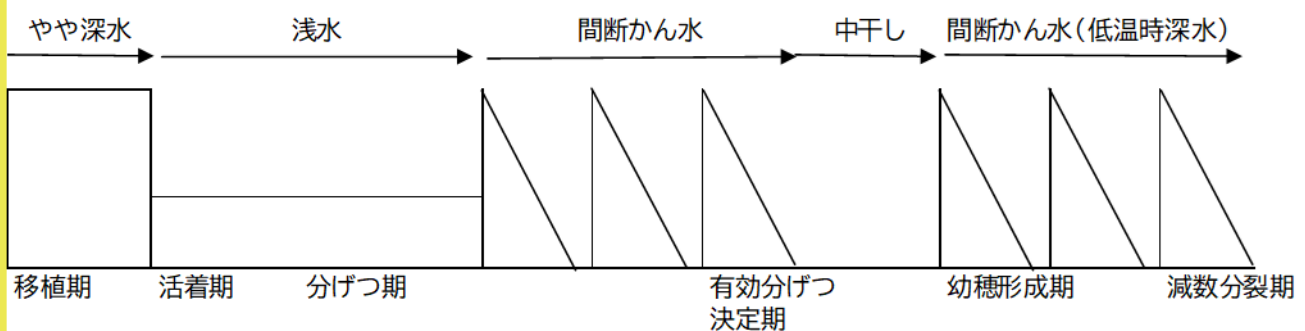
湛水直播では、生育期後半に急激に莖数が増加しやすく、また倒伏もしやすいため、莖数が目標穂数の8割程度に達したら強めに中干しを行います。

乾田直播では、生育過剰にならない限り、特に中干しの必要はありません。

・中干しは7~10日間行い、田面に小さな亀裂が入り、軽く足跡がつく程度とします。

遅くても幼穂形成期前に終了しましょう。(県調査ほひとめぼれの幼穂形成期の平年値:7月5日)

慣行水管理体系 (田植え~出穂前)



※ 水管理については、通水状況に応じて可能な限り実施してください。

(2)その他の管理について

【いもち病】

・6月20日に梅雨入りし、雨や曇りの日が続いています。BLASTAMによる推定では、5月29日及び6月9日に準感染好適条件(当日の感染好適条件を満たす)が出現しています。例年6月中旬以降感染好適条件が多く出現しています。

・田植時の箱施用剤・直播栽培での種子塗抹剤等による予防防除を行っていない場合や、特にいもち病に弱い品種(「金のいぶき」など)を作付けしている場合は、水面施用剤によるいもち病の防除を行いましょう。

【雑草防除】

・残草や後発雑草の発生が見られたほ場では、早めに中後期剤による追加防除を行いましょう。

イヌホタルイ、ノビエ等の水田雑草が残草している場合は、斑点米カメムシ類(特にアカスジカスミカメ)の水田への侵入や斑点米被害を助長します。雑草の穂が出る前の7月上旬までに除草を行ってください。

農薬危害防止運動実施中!(6/1~8/31)

農薬を使用するときは、必ず最新の登録情報を確認しましょう